

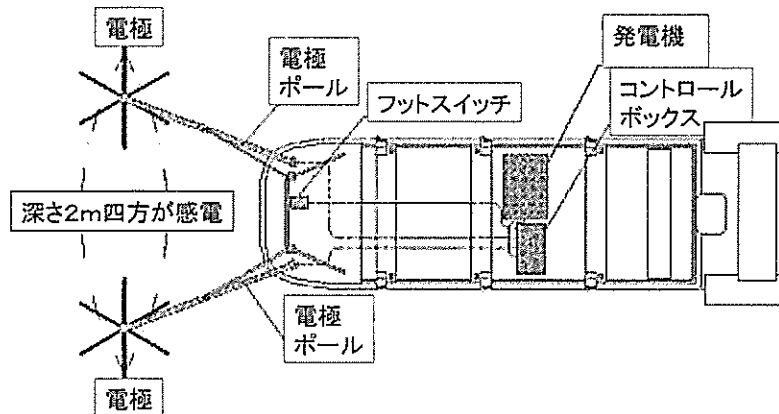
外来魚駆除と電気ショッカーボートの導入



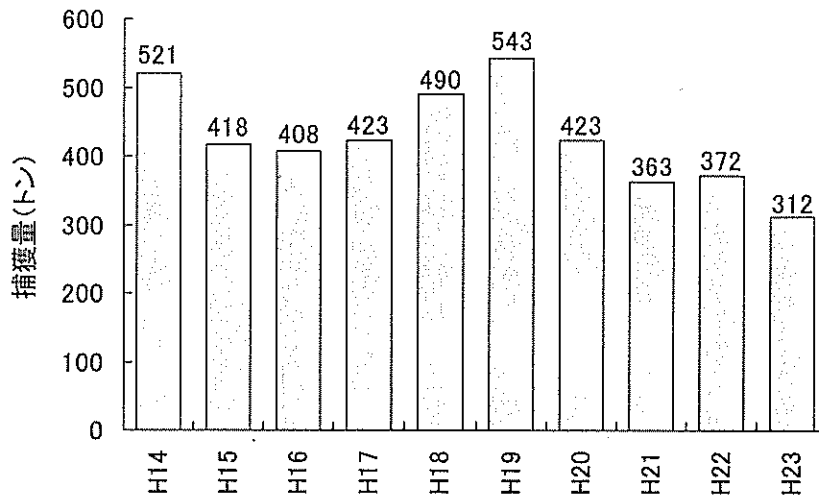
農政水産部水産課

電気ショッカーボートとは

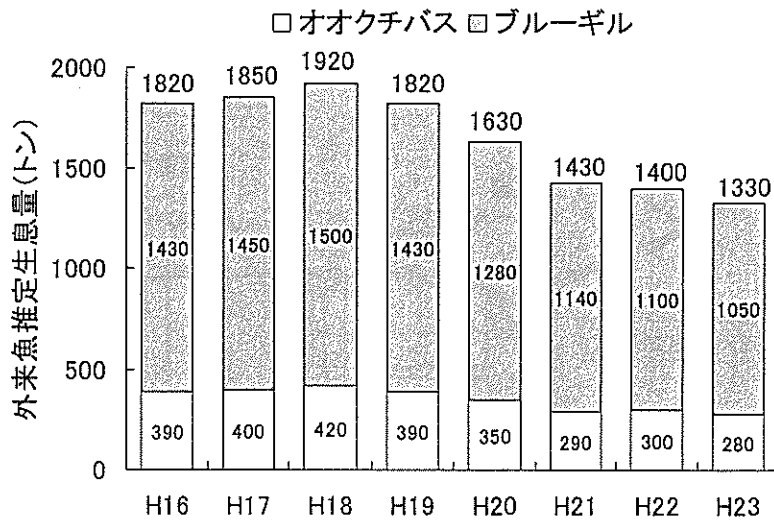
電極間に最大1000Vの電流を流し、麻痺した外来魚のみをすくい取る。在来魚はしばらくすると回復し、泳ぎ出す。



外来魚駆除量の推移



外来魚推定生息量

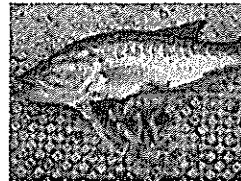


外来魚駆除の現状

- 現状
- ・外来魚生息量の減少に伴い、外来魚が捕れにくくなりつつある。
 - ・在来魚が増加傾向にある。



増加しつつある在来魚を餌として、外来魚が増加する恐れがある

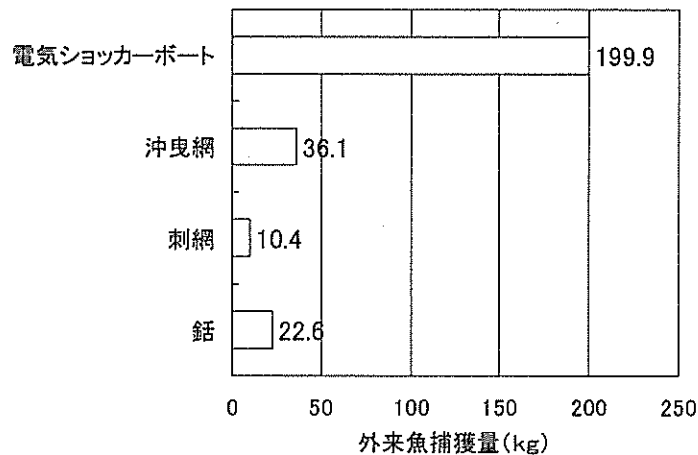


既存の漁法による強力な外来魚駆除の継続
+
魚食性の強いオオクチバスに特化した事業が必要

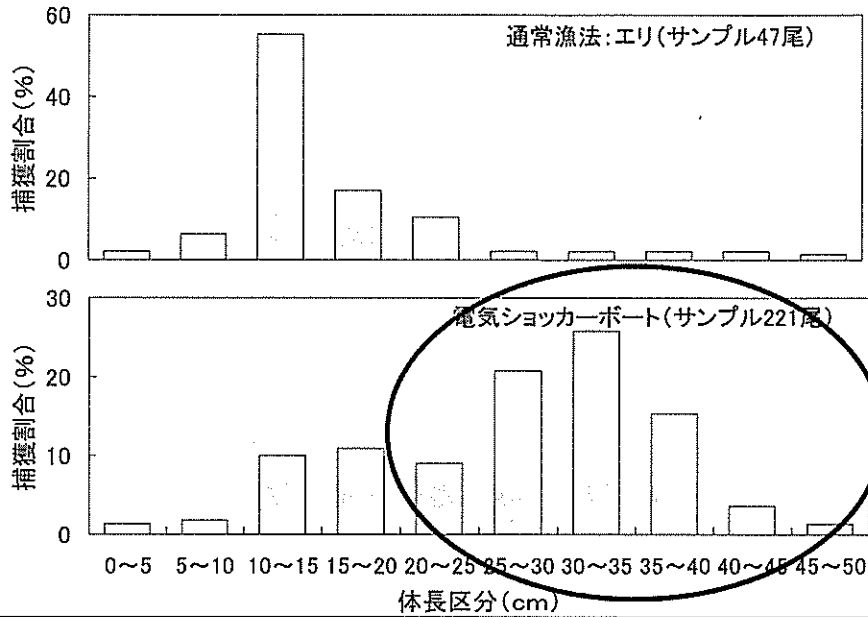
オオクチバス稚魚発生抑制事業(H23年～)

オオクチバスに産卵させないことを目的に、親魚の効率的な捕獲方法を実証

●漁法別の一日あたり外来魚捕獲量(H23調査結果)

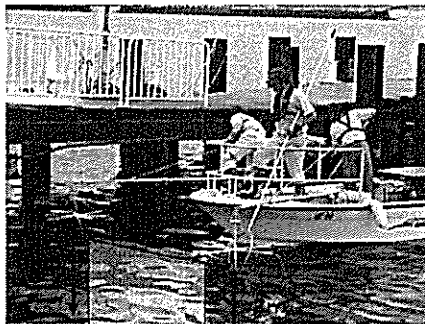


電気ショックボートで捕獲されるオオクチバスの体型



電気ショックボートの特徴

- ①電気ショックは、大きい個体ほど良く効くため、大型のオオクチバス親魚が選択的に捕獲出来る。在来魚は、しばらくすると回復する。
- ②オオクチバスは4~6月に水深1m程度の湖岸で産卵する。
電気ショックボートは、産卵のため接岸したオオクチバスを効率的に捕獲できる。



電気の効果のある範囲(イメージ)

電気ショッカーボート実施状況

●電気ショッカーボート「雷神」

電撃ユニット：エレクトロフィッシャー5.0GPP型（国内最大）
スミス・ルート社（米国）
最大出力 約1000V

ボート：BF-23 ヤマハ発動機株式会社
全長 7.03m 全幅 2.01m 総トン数 1.0トン
出力 60馬力

●実施状況

- ・水深が浅く、外来魚の密度が高い南湖で実施した。
- ・6月1日～7月4日まで16日間で、南湖を1周と1/4まで周回した。
- ・感電した外来魚のみをタモ網にてすくい上げた。

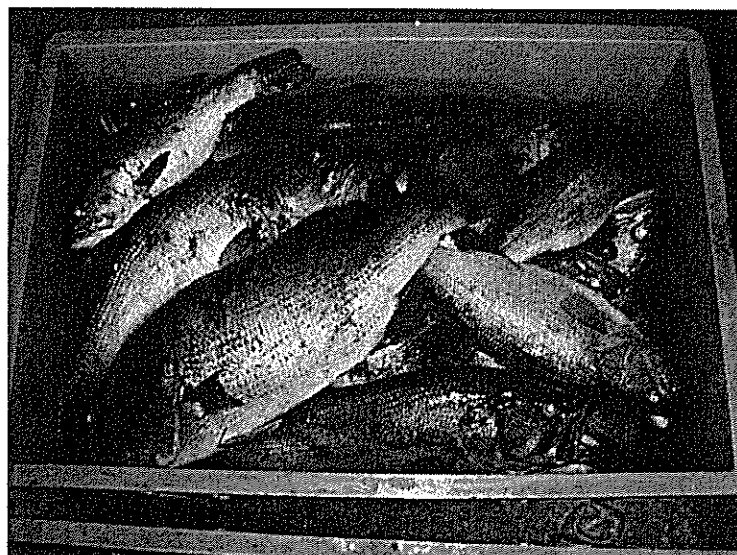
雷神操業状況



電気ショッカーボートで捕獲された外来魚

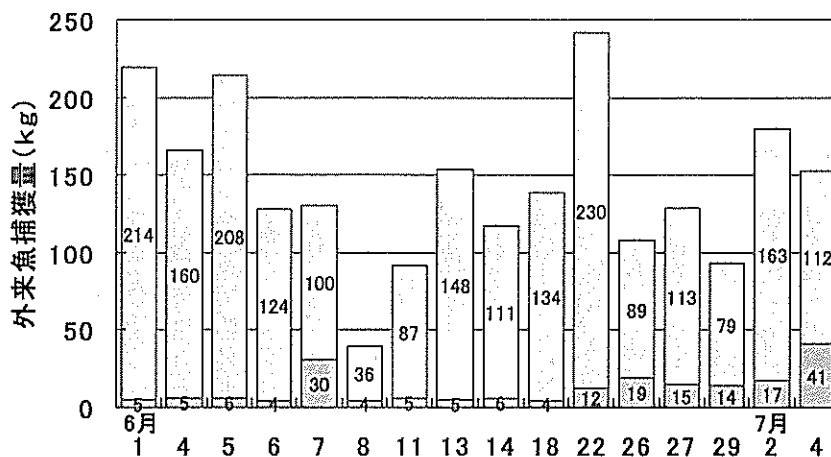


電気ショッカーボートで捕獲された外来魚



雷神成果

■ブルーギル □オオクチバス



捕獲16回で2302kgの外來魚を捕獲

今後の予定

月	出勤回数	備考
10月	12回	10~11月にかけて、12回 (南湖1周)を計画
11月		
12月	2回	
1月	—	低水温
2月	2回	
3月	6回	
合計	22回	

ホンモロコ



ニゴロブナ



在来魚の豊かな琵琶湖を取り戻すため、
今後も外来魚駆除を強力に推し進めて
いきます。

ビワマス



コアユ

